

苅田港南港地区南港10号泊地浚渫工事の変更のお知らせ

次のとおり苅田港南港地区南港10号泊地の磁気探査、潜水探査、浚渫工事(グラブ浚渫船)を実施しますので、付近を航行する船舶は十分ご注意くださいと工事へのご協力をお願いします。

1、工事期間及び作業時間 工事期間 平成30年2月中旬～平成30年6月下旬

平成30年	2月	3月	4月	5月	6月	作業時間
事前測量	■					日没～日の出 及び日の出～日没
磁気探査	■	■				日没～日の出 及び日の出～日没
潜水探査		■				日没～日の出 及び日の出～日没
浚渫工		■	■	■	■	日没～日の出 及び日の出～日没
土運船運搬工		■	■	■	■	日没～日の出 及び日の出～日没
揚土工		■	■	■	■	日の出～日没
深淺測量					■	日没～日の出 及び日の出～日没

注意1) 期間は、工事の進捗状況により前後する場合があります。

2、作業実施箇所 … 箇所図参照

作業区域は、磁気探査、潜水探査、浚渫工、土運船運搬工、深淺測量(事前測量)を行います。

変更作業区域は、上記作業および昼間の浚渫作業を行います。

3、作業内容

(1) 磁気探査および潜水探査：夜間作業および昼間作業

磁気探査を行い、磁気異常点が発見された場合は、潜水探査を実施のうえ、異物を揚収します。その後、異常点を中心に異物が残っていないか磁気探査(確認探査)を行います。(図1参照)

(2) 浚渫工：夜間作業および昼間作業

浚渫作業は、主にグラブ浚渫船(スパッド方式)で、岸壁付近はサンドポンプ付クレーン台船で行います。浚渫土砂は土運船に積み込みます。(図2、図3参照)

(3) 土運船運搬工：夜間作業および昼間作業

積み込んだ浚渫土砂は、土運船にて新松山地区埠頭用地造成地に運搬します。運搬経路は、主に経路1で浚渫土を運搬し、経路2で空の土運船を運航します。(荒天時は変更します。)(箇所図参照)

(4) 揚土工：昼間作業

土運船で運搬した浚渫土砂は、バージアンローダ船(揚土船)で新松山地区埠頭用地造成地(揚土箇所)へ投入します。(箇所図参照)

(5) 深淺測量(事前測量)：夜間作業および昼間作業

測量船を用いて、音響測深機を用いた深淺測量を行います。

4、作業の安全対策

① 共通事項

- 1) 作業期間中は、レーダー及び国際VHFを搭載した警戒船最大2隻を配置します。(昼間は国際VHF搭載の警戒船)
- 2) 作業期間中は、退避対象船舶が航行する場合は、作業船を退避させます。
- 3) 作業関係船舶には、海上衝突予防法に規定する形状物(球形・ひし形・球形)を掲揚します。

② 潜水探査

- 1) 潜水作業中は、照明灯により自船を明示します。
- 2) 潜水作業中は、潜水士船上国際信号A旗板を掲げ、潜水作業中であることを明示します。

③ 浚渫工

- 1) 浚渫作業中は、照明灯により自船を明示します。

5、航行船舶へのお願い

本工事付近を航行する船舶は、作業船の退避をする必要があるため、以下のご協力をお願いします。

- ① 苅田港南港泊地へ入出港する船舶(プレジャーボート・漁船を除く)は、入港時は、港堺(7・8号ブイ付近)通過時刻の、出港時は、離岸時刻の1時間前までに、「1. 船名」「2. 全長」「3. 入出港予定時刻」を苅田港南港地区支援業務室へ連絡をお願いします。
- ② 入出港予定時刻の30分前に、再度、入出港予定時刻を連絡をお願いします。
- ③ 連絡内容に変更があった場合には、その都度連絡をお願いします。

付近を航行するVHF装備船舶は、常時VHF16chを聴取してください。

なお、VHFで警戒船を呼び出すときは「苅田港南港地区の警戒船」と呼びかけてください。作業情報を得ようとする場合は、苅田港南港地区支援業務室にご照会願います。

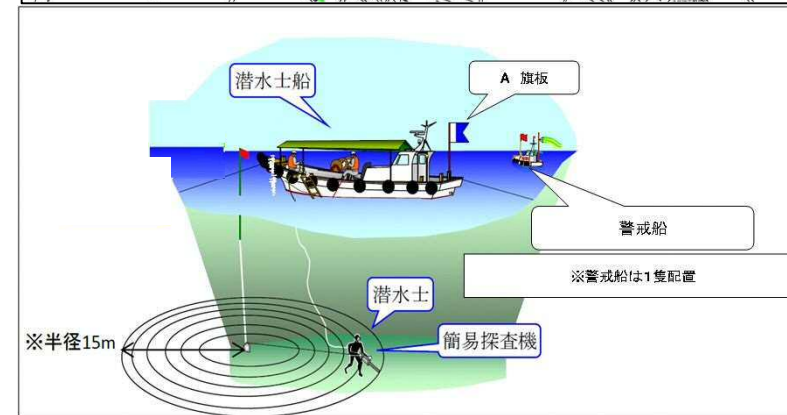
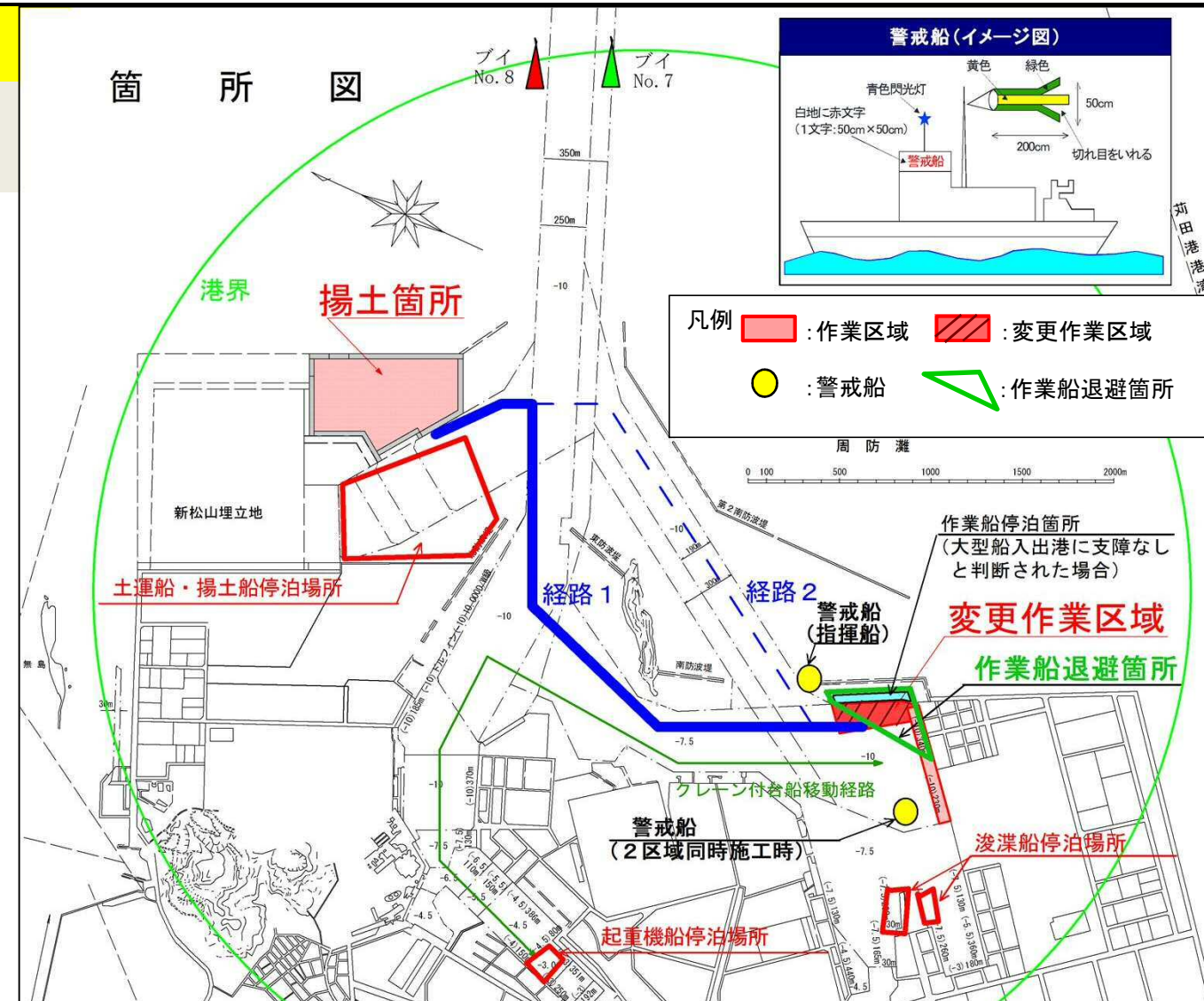


図1 潜水探査概念図

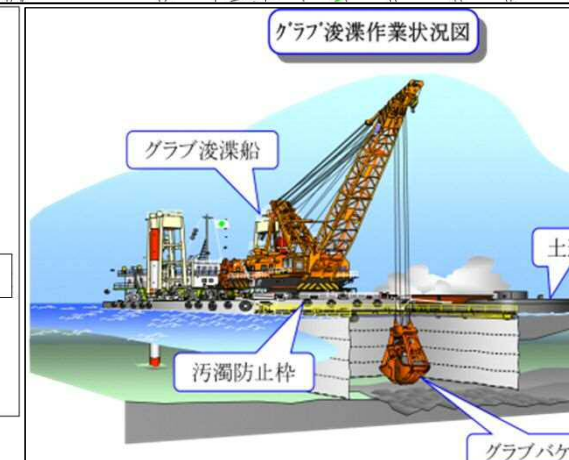


図2 グラブ浚渫概念図

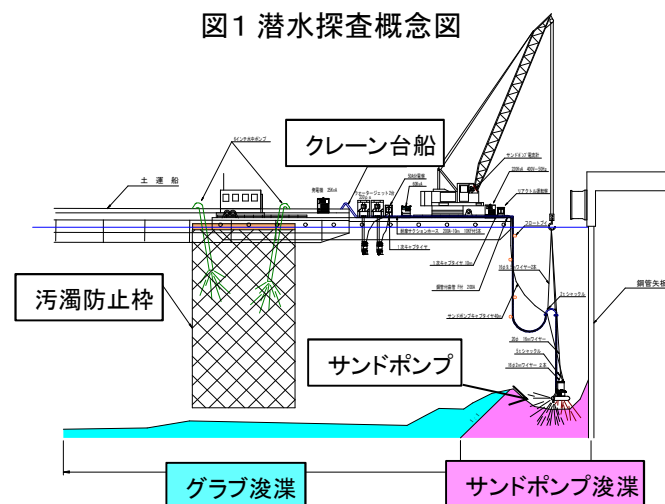


図3 サンドポンプ浚渫概念図

苅田港南港地区支援業務室
TEL 093-383-7975
090-9794-3231(携帯)
FAX 093-383-7976

事業者:福岡県苅田港務所
TEL 093-434-0585
FAX 093-436-2875